



特集
四日市と凄い人列伝
十世 伊藤伝七
中面へ→

本だけじゃない!読むとフムフム

地域資料室にあるおたより・広報誌・パンフレット…

地域資料室にあるのは、「本」だけじゃない!ってご存じでしたか?
市内や県内の様々な施設や機関が出しているおたよりや案内・同人誌も、
資料として集めているのです。今回は、そんな検索では出てこない資料をご紹介します。

※貸出はしていません。
地域資料室内で
ご覧ください。

・四日市市を知る!



「地区市民センターだより」/「地区広報」
「広報よっかいち」/「四日市子ども広報」
「よっかいちai」/「四日市ホームニュース」
「YOUよっかいち」

☆市や地区が出している広報や、市内で発行されているフリーペーパーもあります。
バックナンバーでは、懐かしい風景に出会えるかも。

・博物館や資料館が好き

「ふみの森探検隊通信」(本居居長記念館)
「佐佐木信綱記念館だより」
「斎宮歴史博物館だより」
「みえんしす」(三重県総合博物館)

☆展示の案内はもちろん、研究成果や新資料の情報、
学芸員によるコラムも。

・郷土の歴史、文化を学ぶ

「久留倍官衙遺跡整備ニュース」

☆最新の調査研究情報はこちらから

「各地区のマップ・パンフレット」

☆市内各地区のセンターや郷土資料館などが発行しているふるさとマップやパンフレットも集めています。

「瑞垣」(神宮司庁)

☆三重県の伝統文化や歴史を紹介。

・社会、生活につながる情報を

「四日市市なやプラザニュース NPOネットワーク」/

「はもりあだより」(四日市男女共同参画センター)

☆市民活動や施設の活動を紹介しています。

さまざまな社会問題についての記事も。

「四日市まんなか子どもステーション通信」/

「子育て応援新聞」(体験ひろば☆子どもスペースよっかいち)

☆子育てに関する資料もあります。

「きらり」(JAみえきた)

☆地元で頑張る農家や野菜の育て方を紹介。



・生きもの、自然にふれる

「えこっぱニュース」(四日市公舎と環境未来館)/

「こちら市民塾」/「環境学習みえ」

☆環境について学び考えるきっかけに…

「トバスーパーアクアリウム」

「しのびぐも」(三重くモ談話会)

☆不思議な生き物の世界に触れたり、写真にほっこりしたり。マニアックな研究にも興味津々。



・気になる、地域の産業・経済

「商工春秋」(四日市商工会議所)

☆この地域の商工業についてはもちろん、歴史に関するコラムなども。

「三十三トピック」/「HRIレポート」

☆金融機関による県内の企業や経済の情報。

地域に関するコラムも。

ほかにも、さまざまな種類の広報誌やたよりがあります。

また、地域資料室入口には、この地域で発行された文芸誌なども置いてあります。ぜひご覧ください。

☆今号の特集のごあんない

今年10月にプチ展示で取り上げた「渋沢栄一」の資料を探していた時、十世 伊藤伝七が多くの資料に登場。
つながりの強さを感じました。渋沢栄一が注目されている今、「やらないわけにいかない!」というわけで、

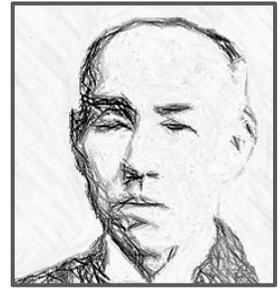
今回の特集は、**「十世 伊藤伝七」** です。 **中面へ→**



ともちか 十世 伊藤伝七知周

1852～1924年

三重紡績会社（のちの東洋紡株式会社）の創立者。
地域の産業発展に尽力した。



十世 伊藤伝七について

三重郡室山村（現四日市市室山町）で、酒造業などを営む九世 伊藤伝七の長男として生まれる。青年期の名は伝一郎。父の没後、「伝七知周」を名乗る。（以下、伝七＝十世 伊藤伝七）

父と、五世 伊藤小左衛門の勧めで、紡績業を志し、堺紡績所に入所、職工として学んだ。帰郷後、父と共に三重紡績所（川島村）を設立するも不振となり、渋沢栄一の援助を得て「三重紡績会社」を設立。のちに同社は大阪紡績と合併し、東洋紡績株式会社（現・東洋紡株式会社）となった。紡績業以外にも様々な事業に関わり、この地域の経済・産業の発展に尽力した。

関わった主な事業・会社

東洋紡績株式会社（現・東洋紡）／伊藤メリヤス合資会社／四日市倉庫株式会社／
日進工業株式会社／三重鉄工所／四日市給水株式会社／四日市製紙株式会社／
三重軌道株式会社／四日市商工会議所／四郷村役場

ココに注目!!

伊藤家の元々の家業である酒造業。伝七は、家業でも新しい挑戦をしています。それは、ビールの醸造。ドイツのビール製造法を導入し、県下初の地ビール製造に成功します。地元室山の天然水を使ったビールは高い評価を得て、三星商会（浜町）の手で、全国に出荷されました。現在も、復刻ラベル版が販売中です。

なんと、ビールも
つくっていた!!



九世 伊藤伝七知則 1828-1883

酒造業、代官所の財務事務を務める。
五世 伊藤小左衛門とともに、紡績業に注目し、各地の紡績所を訪ねたり、息子を紡績所に見習いに行かせたりした。
政府の紡績機械の払い下げに申請し、1882年に「三重紡績所」を操業するも、志半ばで亡くなる。川島にあった紡績所までロバに乗って通う姿も有名だった。



五世 伊藤小左衛門 1818-1879

九世 伝七のいとこ。
醸造業や代官所の役を務める家に生まれる。横浜の開港に伴い、海外で茶や生糸が人気と知り、茶業や製糸業を操業する。製糸業では、親族を富岡製糸場に行かせるなどして研究し、近代的な製糸工場を作った。
九世 伝七に手回し紡ぎ機を見せ、紡績をすすめたことでも知られる。



伝七をとりまく人びと

十一世 伊藤伝七 1878-1960

伝七の弟・伝平の長男で、名は栄治郎。
伝七家の養子となり、紡績業の他に、三岐鉄道株式会社の社長などを務めた。また、長く商工会議所の会頭をし、工場誘致や、四日市市立商工学校の建設に力を注ぎ、地域の産業・教育などに広く貢献した。1959年には、名誉市民となっている。

渋沢栄一 1840-1931

実業家。四日市が交通の要所であることに注目し、頭取を務める第一銀行の東海地方初の支店を四日市に設置。業績不振に悩む伝七から相談を受け、資金面で援助し、会社の大規模化などの助言も行う。その後もたびたび四日市を訪れ、この地域の商工業の発展に多く関わった。

今も残る伝七ゆかりの場所・もの

- ◆旧東洋紡績株式会社富田工場原綿倉庫(富洲原町):旧工場の倉庫。現在は、ショッピングモール内の一部。
- ◆旧伊藤伝七別邸(高砂町):伝七の別邸。現在は飲食店として利用されている。
- ◆四郷郷土資料館:伝七らの寄付により建てられた旧四郷村役場。現在は郷土資料館。(2023年3月まで休館)
- ◆伊藤伝七の墓(室山町):九世、十世、十一世の墓碑が並んで立っている。

ココに注目!!

伝七の墓の側には、その履歴が書かれた石碑が建っています。
この碑に書かれた文章は、十世が亡くなった後、十一世が「父の経歴を記した石碑を建てたい」と考えていたところ、その想いを知った渋沢栄一が、「それなら、自分が」と自ら筆を取ったものです。

私と伝七君の、
友好の証しだよ



※十世伝七に関する資料

資料名	著者	出版社	発行年	請求記号	貸出
文化展望・四日市 第16号	四日市市文化振興財団/編集	四日市市文化振興財団	1999	L/051//16	○
文化展望・四日市 第20号	四日市市文化振興財団/編集	四日市市文化振興財団	2003	L/051//20	○
三重県史 通史編近現代 1	三重県/編集	三重県	2015	L/200//	○
発見! 三重の歴史	三重県史編さんグループ/著	新人物往来社	2006	L/201//06	○
四日市志 附 名所案内	伊藤善太郎/著	伊藤善太郎	1907	L/223//	×
四日市市史 [昭和5年版]	四日市市教育会/編纂	名著出版	1973	L/223//	○
四日市市史 第12巻	四日市市/編集	四日市市	1993	L/223//12	○
四日市市史 第18巻	四日市市/編集	四日市市	2000	L/223//18	○
四日市もっと知り隊検定公式テキスト	四日市もっと知り隊検定実行委員会/編集	四日市商工会議所	2013	L/223//13	○
四郷・ふるさと史話	「四郷・ふるさと史話」編集委員会/編	四郷地域社会づくり推進委員会事務局	1999	L/223/四郷/	○
近代四日市の幕開け	四日市市立博物館/編集	四日市市立博物館	1997	L/282//	○
四日市の礎 111人のドラマとその横顔	志水雅明/著	四日市市文化協会	2009	L/282//09	○
伊藤伝七翁 伝記・伊藤伝七	絹川太一/編	大空社	2000	L/289/1ト/09	×
広報よっかいち 平成25年度分収録版 (4月上旬)	四日市市役所政策推進部広報広聴課/編集	四日市市役所政策推進部広報広聴課	2014	L/318//13	○
四日市商工会議所百年史	四日市商工会議所/編集	四日市商工会議所	1993	L/330//	○
東洋紡績株式会社富田工場	歴史的建造物研究会/編集	四日市市教育委員会	1996	L/522//	○
保存情報 3 	日本建築家協会東海支部愛知地域会保存研究会「保存情報Ⅲ」出版編集委員会/編集	日本建築家協会東海支部愛知地域会保存研究会	2015	L522//15	×
東洋紡百三十年史	東洋紡株式会社社史編集室/編集	東洋紡株式会社	2015	L/586/21	×
百年史 東洋紡 上・下	東洋紡績株式会社社史編集室/編集	東洋紡績	1986	L/586//1	×
東洋紡績七十年史	東洋紡績株式会社/編	東洋紡績株式会社	1953	L/586/	×
三重県事業史	第九回関西府県聯合共進会三重県協賛会/著	第九回関西府県聯合共進会三重県協賛会	1907	L/60/07/	○
四日市港開港百年史	四日市港管理組合/編集	四日市港管理組合	2000	L/683//	○
物流は果てしなく	榎村一世/著	四日市倉庫	1989	L/683//	○
三岐鉄道50年の歩み	三岐鉄道株式会社/編集	三岐鉄道	1981	L/686//	○
商工春秋 No.802		四日市商工会議所	2021	冊子・パンフ	×
四郷の先覚者たち	四郷ふるさと実行委員会ほか/編集	四郷ふるさと実行委員会ほか	[2020]	四郷地区パンフ	×

★ 貸出が×となっても、市内の他の図書館で貸出できる場合もあります。



地域資料室担当の本棚

地域資料の中から、担当者が気になった本を紹介します。



『三重県地方史研究備要』 三重県教職員組合 / 編, 三重県学校生活協同組合, 1961

三重県の古代から近代までの歴史と、その研究方法や時代背景がコンパクトにまとめられています。眺めるだけでも発見があり、参考文献で深掘りすることもできます。

民俗学的研究や地理学的研究についても記載があり、三重県の郷土史がつかみやすい一冊です。

(L/200//61)

「むかしのくらし読本」シリーズ(全6冊) 四日市市立博物館 / 編集, 四日市市立博物館, 2014~

夏休み、地域資料室に郷土の歴史について調べに来た子どもたちにどれだけこのシリーズをすすめたか! というくらい、地域資料室初心者の私が、お世話になっているこのシリーズ。

毎年、四日市市立博物館で開催している「昭和」をテーマにした企画展の図録で、『むかしのくらし読本1』から始まり、『四日市のまちかど』、『昭和の四日市のこども』『四日市の昭和の鉄道』、『空カラ四日市』、『伊勢湾台風』の6冊が現在発行されています。写真と共に歴史やできごとが書かれていて、この一冊でそれぞれのテーマについての全体像を知ることができます。

私のように、学校で習ったくらいしか「昭和の四日市」を知らない人にはもちろん、懐かしい昭和にふれた人にもおすすめです。

(L/223//19 ほか)

※歴史の棚のほか、それぞれのテーマ(民俗・鉄道・台風)の棚にも並んでいます。



『ヒルは木から落ちてこない。』 樋口大良 / 著, 子どもヤマビル研究会 / 著, 山と溪谷社, 2021

鈴鹿の山に登った後で、近場の温泉に行く。「ゆっくりつかろうか」と友と話しながら、Tシャツをばっと脱いだ瞬間「ポツ」何かが床に落ちる。帰りの車中、何やら靴下の中がムズムズしたので信号待ちの時に靴を脱いでみる。「コロ」何かが転がる。言うまでもなく鈴鹿の山(なかでも堆積岩帯の山)の名物『ヒル』である。

鈴鹿の山を舞台に、このなじみ深い生き物の生態を解き明かしていこうと、観察を重ね、実験をし、次々に課題をクリアしていくヤマビル研究会の子どもたちの姿がとてもしっかりいい。自分もこの研究会の一員になった気になって、一気に読んでしまった。

「ヒルの生態を観察し、自然の仕組みを解き明かす…」ポッサム先生と会のメンバーが掲げているテーマは、人間が自然を愛し、守り、共に生きていこうとすることの大切さを改めて考えさせてくれる。まだまだ解らないことがたくさんあるけれど、『ヒル』は生きている。そして私たちが生きている。そのかわりには特殊な形かもしれないが、お互いに求めあっていることは事実であると感じた。より深く知るために。

「気持ちわる～」と言っているあなた、そんなこと言わずにぜひ読んでみてください。子どもヤマビル研究会の活動をぜったい応援したくなるから。

(L483//21)

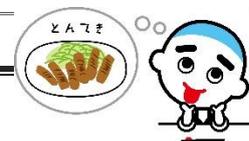


『三重のスロー食堂 Ⅲ』 月兎舎, 2021

食欲の秋ももうすぐ終わり…でも、まだまだ食欲旺盛。ずっと我慢してきた外食に久しぶりに行くならば、どんなお店がいいでしょう。

地元食材を使った料理を出す県内のお店を紹介するこの本。なかなか気軽にまだ遠くへは行けないけれど、地元のお店で地元の味をゆっくり楽しむのも良いかもしれませんね。

(L/596//21)



四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号

Tel059-352-5108 Fax059-352-9897

開館時間/(平日)9:30~19:00(土日祝)9:30~17:00 休館日/月、第2,4火、年末年始、特別整理期間